

## 【山形大学公開森林実習「雪山実習」実施計画】

科目名称：山形大学公開森林実習「雪山実習」

1単位、標準履修年次：2年（またはそれ以上）

担当教員：菊池俊一（山形大学農学部准教授）

実施時期：2027年2月17日（水）～19日（金）（2泊3日）

集合時刻：2027年2月17日（水） 午前8時50分

集合場所：山形大学農学部正門

実施場所：やまがたフィールド科学センター上名川演習林（宿泊施設を兼ねる）

住 所：〒997-8555 山形県鶴岡市若葉町1-23（農学部）

電 話：0235-28-2809（学務担当） FAX：0235-28-2814（学務担当）

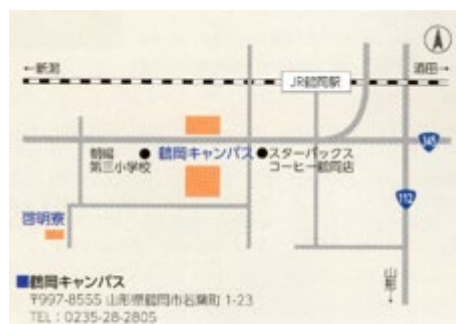
E-mail：yu-nogaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp（学務担当）

アクセス方法：山形大学農学部は鶴岡駅から徒歩15分。鶴岡駅を出たら直進し、県道349号との交差点を右折してしばらく行くと農学部に着く。

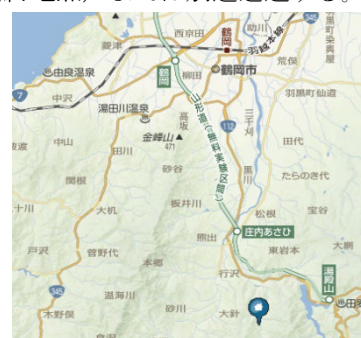
なお、農学部から上名川演習林（最寄りの除雪最終地点）までは別途送迎する。

地 図：

左図：山大農学部  
（集合場所）



右図：上名川演習林  
（実施場所）



対象学生、募集定員：「全国農学系学部相互間における単位互換に関する協定」に参加する大学の農学部学生を対象とする。募集定員は10名。これを超えた場合は選考を行い決定する。

実習課題：積雪環境と森林・樹木の相互関連の理解

実習内容：2泊3日の日程（集中合宿・自炊方式）で実施する。雪国の森林・樹木に多大な影響を及ぼす積雪環境について理解を深め、雪と森林の相互作用、雪国特有の暮らし方等について総合的に学習する。

- 1) 積雪断面の観察、積雪斜面における樹木の生態
- 2) 冬芽の詳細な観察、スケッチ作成
- 3) 雪山サバイバル（カンジキ等による雪上移動体験および雪洞・イグルー設置）
- 4) 雪国の暮らしの聞き取り ほか

参加費用：演習林の施設使用料として1,500円を徴収する。他に自炊の食材費が5～6千円程度。当日集金する。当学までの交通費や前泊の費用は自己負担。

提出書類：依頼書（派遣大学学部長から受入大学学部長へ）

履修願（履修希望学生から受入大学学部長へ）

申告書（履修希望学生から所属大学学部長へ）

受講志望理由書

成績証明書

学生教育研究災害保険の加入を証明する文書のコピー

キャンセルポリシー：食材の実施準備の必要から、直前の2月15日（月）以降のキャンセルには理由の如何を問わずに食材費を請求する。体調管理を怠らないようお願いしたい。

書類提出先：履修希望学生が所属する大学農学部等の学務担当事務

※ 提出期限：2026年11月27日（金）